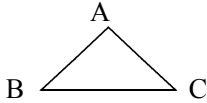
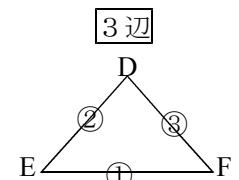
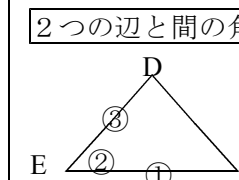
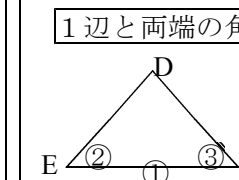
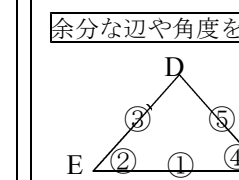
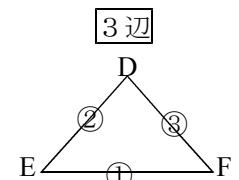
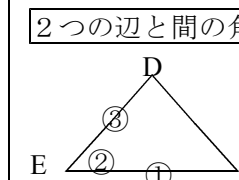
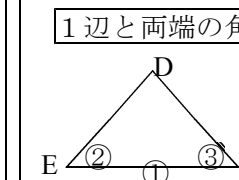
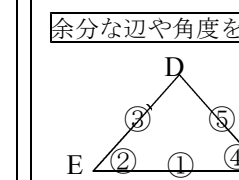
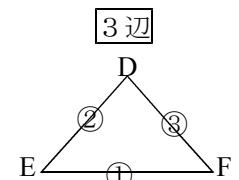
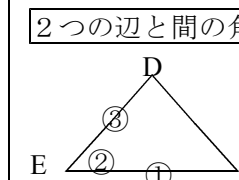
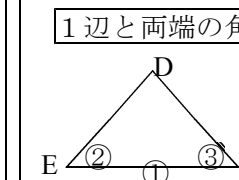
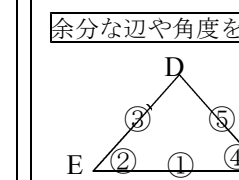


過程	教師のかかわりと予想される子どもの活動	評価				
つかむ	<p>右の三角形 ABC を 2 倍に拡大した三角形 DEF をかこう。</p> 	一斉				
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今日は、方眼がないぞ。白紙にかくんだな。</li> <li>・方眼なしで、どうやってかいたらいいだろう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>*前時は方眼を使ってかいたことを思い出し、本時は方眼ではなく白紙に作図することを押さえる。</li> <li>*子どもの疑問や思いを拾って学習問題につなげる。</li> </ul>				
	<p>三角形の拡大図を方眼なしでかくには、どのようにかいたらよいだろう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>*「どの部分を知りたい？」と子どもたちに尋ね、辺の長さや角の大きさを提示していく。</li> </ul>				
見通す	<ul style="list-style-type: none"> <li>・辺の長さや角の大きさがわからないとできないな。</li> <li>・角度はすべて同じで、辺の長さを 2 倍にすればいいな。</li> <li>・辺の長さの比が 1 : 2 になるようにかこう。</li> <li>・どんな順序でかいたらいいだろう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>*方眼紙でかいたやり方を想起し、角の大きさは等しく、辺の長さを 2 倍 (1 : 2) にすることを押さえ、解決の見通しをもたせる。</li> </ul>				
追究する	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 25%;"> <p>3 辺</p>  <p>① 辺 EF → ② 辺 ED → ③ 辺 FD</p> </td> <td style="width: 25%;"> <p>2 つの辺と間の角</p>  <p>① 辺 EF → ② 角 E → ③ 辺 ED</p> </td> <td style="width: 25%;"> <p>1 辺と両端の角</p>  <p>① 辺 EF → ② 角 E → ③ 角 F</p> </td> <td style="width: 25%;"> <p>余分な辺や角度を測る</p>  <p>① 辺 EF → ② 角 E → ③ 辺 ED → ④ 角 F → ⑤ 辺 FD</p> </td> </tr> </table>	<p>3 辺</p>  <p>① 辺 EF → ② 辺 ED → ③ 辺 FD</p>	<p>2 つの辺と間の角</p>  <p>① 辺 EF → ② 角 E → ③ 辺 ED</p>	<p>1 辺と両端の角</p>  <p>① 辺 EF → ② 角 E → ③ 角 F</p>	<p>余分な辺や角度を測る</p>  <p>① 辺 EF → ② 角 E → ③ 辺 ED → ④ 角 F → ⑤ 辺 FD</p>	個
<p>3 辺</p>  <p>① 辺 EF → ② 辺 ED → ③ 辺 FD</p>	<p>2 つの辺と間の角</p>  <p>① 辺 EF → ② 角 E → ③ 辺 ED</p>	<p>1 辺と両端の角</p>  <p>① 辺 EF → ② 角 E → ③ 角 F</p>	<p>余分な辺や角度を測る</p>  <p>① 辺 EF → ② 角 E → ③ 辺 ED → ④ 角 F → ⑤ 辺 FD</p>			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>*測った辺の長さや角度、描いた順番を図に書き込むように伝える。</li> <li>☆作図方法がわからない A には、コンパスと分度器のどちらか選ばせ、「辺 EF の次はどこを測る？」と順序を確認しながら進めていく。</li> <li>☆早くかけた B には、他のやり方を考えるように伝える。</li> </ul>					
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○グループで、測った場所やかいた順番を説明し合おう。</li> <li>・全部の辺の長さや角の大きさを測ったけれど、必要なところを 3 か所測ればよかったんだな。</li> <li>・他にもやり方があるんだな。</li> <li>・分度器を使わなくても、コンパスと定規だけでかく方法があるんだな。</li> </ul>	グループ				
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○出された作図方法で気付いたことを発表しよう。</li> <li>・3 つのやり方がある。</li> <li>・角の大きさはそのまま、辺の長さを 2 倍してかいている。</li> <li>・合同な三角形をかいたときと条件が同じ。</li> <li>・どの方法も 3 か所だけ測ってかいている。</li> </ul>	一斉				
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○はじめとは違った方法で、2 倍の拡大図をかいてみよう。</li> </ul>	個				
まとめる	<ul style="list-style-type: none"> <li>○今日の学習で学んだことをまとめよう。</li> <li>・三角形の 2 倍の拡大図は、角の大きさはそのまま、辺の長さを 2 倍して、あとは合同な三角形をかくときと同じようにかければよい。</li> </ul>					
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ふり返りをしよう。</li> <li>・2 種類のかき方ができたから、残りの方法でもかいてみたい。</li> <li>・はじめは作図できなかったけれど、○○さんの考えを聞いてできるようになってよかった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>*はじめに作図できなかった子には、同じ方法でもよいので作図を完成させるように伝える。</li> <li>(評) 拡大図の性質や合同な三角形のかき方を基に、2 倍の拡大図をかくことができる。(技能：ワークシート、発表)</li> </ul>				